

教育目標

よりよい明日に向かって学び合い、心豊かにたくましく生きる児童の育成をめざし、

- ③ いごまでがんばる子
- ④ はげまし合い学び合う子
- ⑤ ころやさしく思いやりのある子

重点目標

話をよく聞き、自分の考えをもち、ともに学び合う子ども

推進テーマ:笑顔輝く チームさはこ

県・市の指針

- 「学びの変革推進プラン」(第7次福島県総合教育計画)
- 1 「学びの変革」による資質・能力の確実な育成
  - 2 「学校の在り方の変革」による教員の力、学校の力の最大化
  - 3 学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育による多様性を力に変える土壌づくり
  - 4 「福島を生きる」教育の推進
  - 5 人生100年時代をも通した学びの場づくり
  - 6 安心して学べる環境の整備
- 未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン
- A 様々な体験活動・学習支援活動を推進する。
  - B 教育の「土台」部分を充実し、学力の向上を図る。
  - C 子どもたちの命や心身の健康を守る取り組みを充実する。

子ども・学校・地域の実態

- 全体的に明るく素直な子ども達が多い。豊かな表現力や物事に主体的に取り組む態度の育成が課題。
- 生活習慣や学習習慣、学力の定着のために、家庭との連携を密にした取組が必要である。
- 友達同士は仲良く楽しく生活している。集団で学び合い、互いに高め合うとともに、相手を思いやる心や自律の心の育成が課題である。
- 通学路の交通安全、不審者対応等登下校時の安全に注意を要する。
- 温泉、炭鉱という産業を基盤に栄えてきた町である。町づくりに関わる活動も多く行われている。教育に活用できる施設、人材も多い。

ころやさしく思いやりのある子

達成目標

- 挨拶や会釈、返事がしっかりできる子ども90%以上
- 思いやりの心や優しい気持ちが育っている子ども90%
- 約束やきまりを守ることができる子ども90%以上

重点実践事項

- ① 互いのよさを認め合う集団活動づくりに努める。
  - ア 気持ちのよいあいさつ、会釈、返事の励行
  - イ 規範意識の醸成と実践（「けじめのある生活」、「礼儀正しく接する」、「約束やきまりを守る」）
  - ウ 話を聞き自分の考えを表現させる場の設定
- ② 道徳科を核とした道徳教育の充実に努める。
  - ア 「考え、議論する道徳」の充実
  - イ 自己の生活をふり返る場の設定
- ③ 自己有用感を育む豊かな人間関係づくりに努める。
  - ア 異学年との交流の推進（特別活動、縦割り班活動）
  - イ 地域を生かした体験的な活動の積極的な導入
  - ウ 生徒指導の機能（自己存在感を与える、共感的人間関係の育成、自己決定の場の設定）を生かした活動の充実
- ④ 教育的配慮を必要とする子どもへの支援に努める。
  - ア 個別の教育支援計画、指導計画の作成と活用
  - イ 交流学习の推進・関係機関との連携強化

はげまし合い学び合う子

達成目標

- 国語・算数における学力偏差値前年度比アップ
- 授業が「わかる」「楽しい」と感じる子ども90%以上
- 学習習慣(自ら学習に向かう習慣)の定着85%

重点実践事項

- ⑤ 「わかる授業」の実践による学習内容の定着を図る。
  - ア 学習規律の徹底（学びの土台づくり）
  - イ ねらいの明確化と振り返りの場の設定
  - ウ 個に応じた指導の充実
  - エ 少人数指導の工夫（TT、習熟度別指導）
  - オ ICTを活用した授業の充実
- ⑥ 言語活動の充実と思考・判断・表現力の向上を図る。
  - ア 話し合い活動の充実
  - イ 学び合い、高め合う集団づくり
  - ウ 授業改善への校内研修の充実
- ⑦ 家庭学習の質的向上を図る。
  - ア 家庭学習習慣の確立とメディアコントロールデーの推進（家庭との連携）
  - イ 家庭学習の課題の工夫（授業とのリンク、個に応じた課題、自主学習等）
  - ウ 自己マネジメント力の育成

さいごまでがんばる子

達成目標

- 早寝・早起き・朝ご飯の基本的生活習慣確立90%以上
- 健康や安全に気をつけて生活できる子ども95%以上
- 体力向上推進計画の各段階割合目標値の達成

重点実践事項

- ⑧ 基本的生活習慣と健康な生活の確立に努める。
  - ア 「早寝・早起き・朝ご飯」の継続
  - イ 健康教育・食育の推進（にこにこチェック、学校保健委員会、外部講師活用）
  - ウ 家庭と連携した取り組みの推進（各種おたより活用）
- ⑨ 体力づくり運動を計画的に取り入れ、体力や運動能力向上に努める。
  - ア 運動身体プログラムの毎時間の確実な実施
  - イ 業間運動の効果的な実施
  - ウ 自由遊び等の運動の機会の充実
  - エ 体力テスト結果の累積と保護者への通知
- ⑩ 危険回避能力育成のための安全教育の充実に努める。
  - ア 交通安全、防犯教室の充実（外部講師活用）
  - イ 防災・減災教育の推進
  - ウ 情報モラル教育の推進

保護者・家庭との連携

- 学校の経営方針や教育活動の様子を積極的に情報提供します。
- 授業参観や教育相談の充実に努めます。
- 家庭と連携し、生活・学習習慣づくりを進めます。

地域との連携

- 子どもたちの活動に地域の教育力を積極的に取り入れます。
- 地域行事への積極的な参加を促します。
- 中学校や幼稚園等との連携を密にします。